



平成24年8月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成24年4月13日

上場取引所 東

上場会社名 グローウェルホールディングス株式会社

コード番号 3141 URL <http://www.growell.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 高田隆右

問合せ先責任者 (役職名) 常務取締役兼執行役員グループ経営管理本部長 (氏名) 佐藤範正

TEL 03-5207-5878

四半期報告書提出予定日 平成24年4月13日

配当支払開始予定日

平成24年5月2日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有

四半期決算説明会開催の有無 : 有 (機関投資家向け)

(百万円未満切捨て)

1. 平成24年8月期第2四半期の連結業績(平成23年9月1日～平成24年2月29日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
24年8月期第2四半期	141,689	9.7	5,463	18.3	5,752	17.6	2,646	38.2
23年8月期第2四半期	129,144	19.1	4,619	51.2	4,891	50.7	1,914	17.6

(注) 包括利益 24年8月期第2四半期 2,744百万円 (40.1%) 23年8月期第2四半期 1,981百万円 (—%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
24年8月期第2四半期	143.25	—
23年8月期第2四半期	103.61	—

当社は平成23年9月1日付で普通株式1株につき1.1株の割合で株式分割を行いました。前連結会計年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定し、1株当たり四半期純利益を算定しております。

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
24年8月期第2四半期	108,834	39,779	35.4
23年8月期	106,271	37,349	34.1

(参考) 自己資本 24年8月期第2四半期 38,498百万円 23年8月期 36,186百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
23年8月期	—	17.50	—	20.00	37.50
24年8月期	—	20.00	—	—	—
24年8月期(予想)	—	—	—	20.00	40.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成24年8月期の連結業績予想(平成23年9月1日～平成24年8月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	300,000	10.8	12,100	11.4	12,600	10.6	5,500	21.0	297.64

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

4. その他

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

24年8月期2Q	18,496,167 株	23年8月期	18,496,167 株
----------	--------------	--------	--------------

② 期末自己株式数

24年8月期2Q	19,667 株	23年8月期	17,551 株
----------	----------	--------	----------

③ 期中平均株式数(四半期累計)

24年8月期2Q	18,476,823 株	23年8月期2Q	18,479,043 株
----------	--------------	----------	--------------

当社は平成23年9月1日付で普通株式1株につき1.1株の割合で株式分割を行いました。前連結会計年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定し、期末発行済株式数(自己株式を含む)、期末自己株式数及び期中平均株式数(四半期累計)を算定しております。

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、平成24年4月11日付にて、四半期連結財務諸表に対する四半期レビュー手続は終了しています。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

上記に記載した予想数値は、現時点で入手可能な情報に基づき作成しております。実際の業績等は、今後様々な要因によって予想数値と異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、【添付資料】 P.3「連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期の連結業績等に関する定性的情報.....	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報.....	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報.....	3
(3) 連結業績予想に関する定性的情報.....	3
2. サマリー情報（その他）に関する事項.....	4
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動.....	4
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用.....	4
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示.....	4
(4) 追加情報.....	4
3. 四半期連結財務諸表.....	5
(1) 四半期連結貸借対照表.....	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書.....	7
四半期連結損益計算書.....	7
四半期連結包括利益計算書.....	8
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書.....	9
(4) 継続企業の前提に関する注記.....	11
(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記.....	11

1. 当四半期の連結業績等に関する定性的情報

(1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、東日本大震災の復興需要により回復が一部に見られるものの、欧州経済不安による円高の進行や不安定な雇用情勢などの先行きの不透明感から、消費者の生活防衛意識が高く、引き続き低価格志向型の消費が継続するなど、依然として厳しい環境が続いております。

ドラッグストア業界におきましては、異業種参入、業務・資本提携やM&A等の生き残りをかけた業界再編の動きが加速する中、消費の低迷、出店競争や価格競争の波を受け、業界を取り巻く環境は一段と厳しい状況となっております。

このような状況下におきまして、当社グループは「ドラッグ&調剤」を中心としたビジネスモデルの推進に注力するとともに、お客様のニーズに対応する商品戦略の推進や販促強化等による売上高増加を図ることで既存店も好調に推移するとともに、販売管理費等のコスト削減にも取り組んでまいりました。

店舗の出店・閉店につきましては、新規31店舗を出店、閉店6店舗となり、当第2四半期連結累計期間末の当社グループの店舗数は721店舗となりました。

(単位：店)

	前期末店舗数 (平成23年8月31日)	出店数	閉店数	第2四半期末店舗数 (平成24年2月29日)
ウエルシア関東 (内、調剤取扱店) (内、深夜営業店)	385 (304) (310)	16	2	399 (307) (328)
高田薬局 (内、調剤取扱店) (内、深夜営業店)	120 (70) (64)	7	3	124 (69) (71)
寺島薬局 (内、調剤取扱店) (内、深夜営業店)	123 (70) (85)	5	1	127 (75) (89)
イレブン (内、調剤取扱店) (内、深夜営業店)	68 (23) (47)	3	—	71 (24) (50)
合計 (内、調剤取扱店) (内、深夜営業店)	696 (467) (506)	31	6	721 (475) (538)

また、品目別売上高は、下記の通りとなっております。

区分	金額(百万円)	前年同期比(%)
医薬品・衛生介護品・ベビー用品・健康食品	34,455	101.0
調剤	14,320	129.9
化粧品	26,053	107.9
家庭用雑貨	20,875	108.9
食品	33,403	114.8
その他	12,580	108.4
合計	141,689	109.7

以上の結果、当第2四半期連結累計期間の売上高は141,689百万円(前年同期比9.7%増)、営業利益5,463百万円(同18.3%増)、経常利益5,752百万円(同17.6%増)、四半期純利益2,646百万円(同38.2%増)となりました。

(2) 連結財政状態に関する定性的情報

① 資産、負債及び純資産の状況

当第2四半期連結会計期間末における総資産は、前連結会計年度末と比較して2,563百万円増加し、108,834百万円となりました。これは主に、商品が2,152百万円、有形固定資産が4,113百万円増加したものの、現金及び預金が2,676百万円減少したことによるものです。

当第2四半期連結会計期間末における負債合計は、前連結会計年度末と比較して133百万円増加し、69,055百万円となりました。これは主に、短期借入金が3,031百万円増加したものの、未払金が936百万円、未払法人税等が1,591百万円減少したことによるものです。

当第2四半期連結会計期間末における純資産合計は、前連結会計年度末と比較して2,430百万円増加し、39,779百万円となりました。これは主に、配当金335百万円の支払による減少に対し、四半期純利益2,646百万円を計上したことによるものです。

② キャッシュ・フローの状況

当第2四半期連結累計期間末における現金及び現金同等物（以下、「資金」という。）の残高は、8,759百万円となり、前連結会計年度末と比較して2,245百万円減少しました。

当第2四半期連結累計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は、次のとおりであります。

（営業活動によるキャッシュ・フロー）

当第2四半期連結累計期間における営業活動により得られた資金は、878百万円（前年同期比1.8%増）となりました。これは、税金等調整前四半期純利益5,730百万円に対して、主な増加要因として非資金費用である減価償却費1,771百万円、主な減少要因としてたな卸資産の増加額2,176百万円、法人税等の支払額3,740百万円があったこと等によるものです。

（投資活動によるキャッシュ・フロー）

当第2四半期連結累計期間における投資活動により使用された資金は、4,896百万円（前年同期比108.9%増）となりました。これは主に、定期預金の払戻による収入490百万円に対して、有形固定資産の取得による支出4,634百万円、敷金の差入による支出828百万円があったこと等によるものです。

（財務活動によるキャッシュ・フロー）

当第2四半期連結累計期間における財務活動により得られた資金は、1,771百万円（前年同期2,168百万円の支出）となりました。これは主に、短期借入金の純増減額2,844百万円、長期借入れによる収入2,240百万円に対して、長期借入金の返済による支出2,183百万円、ファイナンス・リース債務の返済による支出684百万円があったこと等によるものです。

(3) 連結業績予想に関する定性的情報

「平成23年8月期決算短信」（平成23年10月14日付）において公表した連結業績予想から変更はありません。

2. サマリー情報（その他）に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

法人税等並びに繰延税金資産及び繰延税金負債の算定方法

法人税等の納付税額の算定に関しては、加味する加減算項目や税額控除項目を重要なものに限定する方法によっております。

繰延税金資産の回収可能性の判断に関しては、前連結会計年度末以降に経営環境等、かつ、一時差異等の発生状況に著しい変化がないと認められるので、前連結会計年度末決算において使用した将来の業績予測やタックス・プランニングを利用する方法によっております。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

第1四半期連結会計期間より、「1株当たり当期純利益に関する会計基準」（企業会計基準第2号 平成22年6月30日）、「1株当たり当期純利益に関する会計基準の適用指針」（企業会計基準適用指針第4号 平成22年6月30日）及び「1株当たり当期純利益に関する実務上の取扱い」（実務対応報告第9号 平成22年6月30日）を適用しております。

この適用により、第1四半期連結会計期間に行った株式分割は、前連結会計年度の期首に行われたと仮定して1株当たり四半期純利益を算定しております。

これらの会計基準等を適用しなかった場合の、前第2四半期連結累計期間の1株当たり四半期純利益は、以下のとおりです。

1株当たり四半期純利益金額	113円97銭
---------------	---------

(4) 追加情報

（会計上の変更及び誤謬の訂正に関する会計基準等の適用）

第1四半期連結会計期間の期首以後に行われる会計上の変更及び過去の誤謬の訂正より、「会計上の変更及び誤謬の訂正に関する会計基準」（企業会計基準第24号 平成21年12月4日）及び「会計上の変更及び誤謬の訂正に関する会計基準の適用指針」（企業会計基準適用指針第24号 平成21年12月4日）を適用しております。

3. 【四半期連結財務諸表】

(1) 【四半期連結貸借対照表】

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成23年8月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成24年2月29日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	11,591	8,914
売掛金	5,347	5,715
商品	28,398	30,550
その他	4,445	4,162
貸倒引当金	△3	△3
流動資産合計	49,778	49,340
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	16,269	19,307
土地	6,320	6,638
リース資産（純額）	5,865	6,763
その他（純額）	1,394	1,254
有形固定資産合計	29,850	33,963
無形固定資産		
のれん	9,522	8,835
その他	662	705
無形固定資産合計	10,185	9,541
投資その他の資産		
差入保証金	13,053	13,065
破産更生債権等	70	69
その他	3,420	2,941
貸倒引当金	△86	△86
投資その他の資産合計	16,457	15,989
固定資産合計	56,492	59,494
資産合計	106,271	108,834

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成23年8月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成24年2月29日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	33,363	33,004
短期借入金	6,725	9,757
未払金	3,183	2,247
未払法人税等	3,735	2,144
賞与引当金	421	443
ポイント引当金	2,345	2,117
その他	3,882	3,737
流動負債合計	53,658	53,452
固定負債		
社債	20	—
長期借入金	7,681	7,550
退職給付引当金	586	565
役員退職慰労引当金	1,425	1,471
資産除去債務	1,663	1,772
その他	3,886	4,243
固定負債合計	15,263	15,602
負債合計	68,922	69,055
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,000	1,000
資本剰余金	17,725	17,725
利益剰余金	17,479	19,790
自己株式	△33	△37
株主資本合計	36,171	38,478
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	14	20
その他の包括利益累計額合計	14	20
少数株主持分	1,163	1,280
純資産合計	37,349	39,779
負債純資産合計	106,271	108,834

(2) 【四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書】

【四半期連結損益計算書】
【第2四半期連結累計期間】

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成22年9月1日 至平成23年2月28日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成23年9月1日 至平成24年2月29日)
売上高	129,144	141,689
売上原価	91,743	100,181
売上総利益	37,401	41,508
販売費及び一般管理費	32,781	36,044
営業利益	4,619	5,463
営業外収益		
受取利息及び配当金	9	9
協賛金収入	92	77
その他	333	361
営業外収益合計	435	448
営業外費用		
支払利息	102	80
その他	61	78
営業外費用合計	163	159
経常利益	4,891	5,752
特別利益		
貸倒引当金戻入額	1	—
移転補償金	4	—
退職給付制度改定益	—	73
その他	0	3
特別利益合計	6	77
特別損失		
店舗閉鎖損失	16	3
固定資産除却損	11	25
投資有価証券評価損	1	—
減損損失	171	40
資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額	791	—
リース解約損	—	27
その他	45	3
特別損失合計	1,037	98
税金等調整前四半期純利益	3,861	5,730
法人税、住民税及び事業税	2,235	2,132
法人税等調整額	△342	828
法人税等合計	1,892	2,961
少数株主損益調整前四半期純利益	1,968	2,769
少数株主利益	53	122
四半期純利益	1,914	2,646

【四半期連結包括利益計算書】
【第2四半期連結累計期間】

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成22年9月1日 至平成23年2月28日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成23年9月1日 至平成24年2月29日)
少数株主損益調整前四半期純利益	1,968	2,769
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	12	5
その他の包括利益合計	12	5
四半期包括利益	1,981	2,774
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	1,927	2,652
少数株主に係る四半期包括利益	53	122

(3) 【四半期連結キャッシュ・フロー計算書】

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成22年9月1日 至平成23年2月28日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成23年9月1日 至平成24年2月29日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	3,861	5,730
減価償却費	1,458	1,771
減損損失	171	40
資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額	791	—
のれん償却額	690	687
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	△0	△0
賞与引当金の増減額 (△は減少)	△3	22
役員退職慰労引当金の増減額 (△は減少)	25	45
退職給付引当金の増減額 (△は減少)	25	△21
ポイント引当金の増減額 (△は減少)	194	△228
受取利息及び受取配当金	△9	△9
支払利息	102	80
投資有価証券売却損益 (△は益)	0	—
投資有価証券評価損益 (△は益)	1	—
固定資産除却損	11	25
固定資産受贈益	△25	△60
売上債権の増減額 (△は増加)	△347	△368
たな卸資産の増減額 (△は増加)	△1,643	△2,176
仕入債務の増減額 (△は減少)	△1,912	△358
未払消費税等の増減額 (△は減少)	△173	△107
その他	256	△565
小計	3,474	4,508
利息及び配当金の受取額	9	9
利息の支払額	△101	△81
法人税等の支払額	△2,591	△3,740
法人税等の還付額	72	182
営業活動によるキャッシュ・フロー	863	878
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の預入による支出	△322	△60
定期預金の払戻による収入	780	490
有形固定資産の取得による支出	△2,057	△4,634
無形固定資産の取得による支出	△86	△142
保険積立金の解約による収入	—	220
敷金の差入による支出	△688	△828
敷金の回収による収入	88	88
その他	△56	△30
投資活動によるキャッシュ・フロー	△2,343	△4,896

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成22年9月1日 至 平成23年2月28日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成23年9月1日 至 平成24年2月29日)
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額 (△は減少)	879	2,844
長期借入れによる収入	500	2,240
長期借入金の返済による支出	△2,600	△2,183
社債の償還による支出	△172	△100
配当金の支払額	△293	△335
少数株主への配当金の支払額	△4	△4
ファイナンス・リース債務の返済による支出	△473	△684
自己株式の取得による支出	△0	△4
その他	△1	0
財務活動によるキャッシュ・フロー	△2,168	1,771
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	△3,649	△2,245
合併に伴う現金及び現金同等物の増加額	3	—
現金及び現金同等物の期首残高	10,810	11,005
現金及び現金同等物の四半期末残高	7,164	8,759

(4) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。